



# 拓北・あいの里地区社協ミニ通信

拓北・あいの里地区社会福祉協議会

会長：渡邊 寛 広報部長：森下 満

この広報紙は赤い羽根共同募金の支援を受けています

No 98

令和 7年 6月 20日

**6月4日(水)に社協常任理事会が行われました。  
各部の活動状況と今後の予定についてご報告します。**



札幌は祭りの季節です。6月上旬から中旬にかけて、YOSAKOIソーラン祭り  
と北海道神宮例祭が続けておこなわれ  
ました。皆さん、楽しめましたか。

## ■ ボランティア企画部より ■

### ○生活支援ボランティア活動を通じて、心のかよい合う交流へと展開する波及効果が生まれています

- ・前号であいの里高等支援学校の生徒さん達の授業の一環として、庭の草取り作業が実施されたことを報告しましたが、後日その依頼者が学校へ感謝状を送り、感激した生徒さん達がさらにやる気を出している、とのこと。また、室内清掃の依頼は6度目になりましたが、活動実施後にはいつも依頼者とボランティアの方とが1時間ほどよもやま話に花を咲かせています。いずれも、この活動を通じて心のかよい合う交流へと展開する、波及効果が生まれています。
- ・6月6日(金)10時から福まちの部屋で、今年度1回目の生活支援ボランティアに関する打合せを行い、ボランティア登録者9名を含む、総勢16名が参加しました。昨年12月からの生活支援ニーズ対応状況の報告、課題、今後の方向性について意見交換しました。ボランティア登録者数は27名ですが、これまで8世帯21回の依頼に対し、実際に活動を実施したのは7名・1/4ほどと少なく、これを改善するべく運営方法を見直すこと等が議論されました。

## ■ 総務部より ■

### ・令和7年度定期総会開催

今年の地区社協の定期総会は、5月24日(土)午後2時から3時まで、当社協役員12名、団体会員代表32名、来賓5名、総勢49名の参加を得、地区センター多目的ホールにて開催されました。報告事項、議案事項はすべて承認されました。

なお、詳細については9月発行予定の「福祉のまちづくり通信60号」でご報告いたします。

## ■ ふれあい交流部より ■

- ・6月3日(火)の「ひまわりクラブ」は拓北・ひまわり会館に2組4名の親子さんが参加され、自由遊び、歌と踊り、紙芝居を楽しまれました。引き続き、出席カード、お誕生日カードを用意し、七夕のフォトスポットコーナーも設けました。次回は7月10日(火)10:00~11:30、地区センター和室にて開催予定です。
- ・「福まちサロン」は6月26日(木)10:00~11:30、地区センター2階集会室にて開催予定です。



総勢16名が参加した6月6日の今年度1回目の生活支援ボランティアに関する打合せの様子



総勢49名が参加した5月24日の社協定期総会の様子



2組4名の親子さんたちが参加した、6月3日のひまわりクラブで、自由遊びをしている様子。  
“にらめっこ”?



ひまわりクラブで設けられた、七夕のフォトスポットコーナーで、参加した親子さんの記念撮影

## ■ 地域ケア部より ■

5月例会は20日（火）18：30～20：00、当日参加の皆さん全員をゲストに「このまちを語り合う茶話会～住んで良かったと思える福祉のまちづくりのために～」をテーマに、地区センター2階集会室にて話題提供をいただき、意見交換を行いました。地区センターでの対面方式で行われ、参加者は21名。

参加者を3つのグループに分け、6～7名のグループごとに、自己紹介から始めて、ざっくばらんな意見を語り合いました。

その内容は、「シリアスなこと」、「楽しいこと」、「新しいこと」に大きく分けられます。

シリアスなこととして、まずあげられたのが「ボランティア活動」に関することです。これは、当地区社協の新しい事業として、身近な生活お助け隊「サポートたくあい」が昨年12月からスタートし、冬のスポット除雪、部屋の掃除、ごみ出し、買物代行、さらには春になって庭木の処理、草取り・草刈りの依頼があり、多様なニーズに対応してきました。しかし、ニーズに対してどこまで行ったらよいのか、シルバー人材センターとの線引きはどう考えたらよいのか、等々、課題も見えてきました。システム化は難しいですが、今後どのように取り組むべきか、意見が交換されました。この他に「町内会活動」の役員や活動内容、「除雪」がテーマにあげられました。

楽しいこととして、まずあげられたのが7月26日（土）に予定されている「あいの里ふれあい祭り」です。これは昨年30回をもって終了したあいいい祭りとは形を変えて、ふるさとの祭りを途絶えさせることなく継続していくことを目指す、有志の連合体によるものです。現在、教育大の学生が20人、医療大の学生も参加を予定するなど、多数の若者が主体的に取り組んでいます。ただし、簡易トイレがとても高価で、予算の大きな部分を占めてしまうのが悩ましいとのこと。次に、「当地域の豊かな自然環境」の話題では、リス、ワカサギ、キジ、カワセミなどの珍しい動物たち、ペケレット湖、等々関心が高い様子でした。また、介護の研究で「3Dプリンター」を購入して、アニメ作品のキャラクターを作成し、職場の人目のつくところに設置して楽しんでいる例もあり、今後は自助具の作成を目指すとのこと。地域の「駄菓子屋」の運営を引き継ぎ、大変だが楽しい日々を送っている例もあげられました。

新しいこととして「POO（プー）マスター」が話題になり、これは排便ケアを基軸としたコミュニティケアのプロフェッショナルを意味します。腸内環境が健康に寄与することに着目し、介護現場で活用できるよう「うんこ文化センター おまかせうんちッチ」で養成研修を受け、資格取得に向けてチャレンジしているとの報告がありました。

今回は、このまちの日々の暮らしに関するボランティア活動や地域活動、特色ある地域環境、介護・福祉に関することなどについて、同じ地域の仲間として幅広く語り合い、情報交換を行うことができました。

なお、6月例会は17日（火）18：30～20：00、地区センター2階集会室にて、この4月に当地区に開設された北区第2地域包括支援センター拓北・あいの里支所の支所長・社会福祉士・照井伸洋（てるい・のぶひろ）さんをゲストに「こんにちは！包括です」をテーマに、話題提供をいただき、意見交換を行いました。その内容については次号の99号で報告いたします。



地区センターで21名が参加した、5月20日の地域ケア部の例会

## ◇ 今後の予定 ◇

7月例会は15日（火）18：30～20：00、地区センター2階集会室にて行う予定です。なお当初予定していたゲストの方の都合がわるくなったため、現在ゲスト、テーマが未定です。決まりしだい、ご案内申し上げます。

地区センターでの対面とオンラインでのハイブリッド方式で行います。「ケア施設町内会会員メーリングリスト」登録者にはZoomアクセス情報をお知らせします。その他の方はケア施設町内会事務局・長谷川までメール takuai.jimu@gmail.com でお問合せ下さい。